

渡島・檜山支庁の気象

平成22年2月(2010年)

函館海洋気象台

平成22年3月31日

◎ 気象概況

上旬から中旬は冬型の気圧配置になることが多く、檜山地方では曇や雪で、渡島地方では晴れる日が多かった。下旬は天気は周期的に変わり、低気圧や気圧の谷の影響で南から暖気が流入することが多く気温は高めに経過した。

月平均気温は平年並～平年より低く、月降水量は一部を除き平年並～平年より少なく、月間日照時間は一部を除き平年並～平年より少なかった。

【上旬】

1日は冬型の気圧配置となり、概ね曇った。2日は冬型の気圧配置が続き、曇で時々雪が降った。3日は冬型の気圧配置が強まり、雪で時々曇った。4日は冬型の気圧配置が続き、日本海側では曇りで太平洋側では概ね晴れた。5日は冬型の気圧配置が強まり、雪が降った。6日は低気圧の通過により、概ね雪で午後から時々晴れた。7日は冬型の気圧配置となり、曇で所々晴れた。8日は気圧の谷の通過により、雨や雪が降った。9日は冬型の気圧配置となり、日本海側では概ね雪で太平洋側では曇りで時々晴れた。10日は冬型の気圧配置が続き、概ね曇で一時雪が降った。

【中旬】

11日は冬型の気圧配置が続き、日本海側は曇で一時雪が降り、太平洋側では曇りで時々晴れた。12日は気圧の谷の通過により、概ね曇で所々雪が降った。13日は弱い冬型の気圧配置となり、日本海側は曇で一時雪が降り、太平洋側では曇りで時々晴れた。14日は発達中の低気圧の接近により、曇で昼過ぎから荒れた天気となり雪となった。15日は弱い冬型の気圧配置となり、概ね曇った。16日は高気圧に覆われ、晴れた。17日は弱い冬型の気圧配置となり、日本海側では曇で時々雪が降り、太平洋側では概ね晴れた。18日は低気圧の接近により、晴で夕方から雪が降った。19日は発達した低気圧の影響で、雪が降った。20日は気圧の谷の通過により、雪が降った。

【下旬】

21日は高気圧の縁辺で、晴で日本海側では時々曇った。22日は前線の接近により、曇で夕方から雨や雪が降った。23日は高気圧の縁辺で、太平洋側では晴で日本海側では概ね曇った。24日は気圧の谷の接近により、概ね曇った。25日は前線を伴った低気圧の接近により、概ね曇で渡島東部では晴れた。前線の接近により、南から暖気が流入し函館市美原で気温13.6℃、松前で気温13.8℃、八雲長熊石で気温11.8℃、厚沢部鶉で気温12.9℃、江差で気温14.5℃を観測し、それぞれ2月における日最高気温の高い方からの極値を更新した。26日は前線の通過により、晴一時曇で昼前まで雨が降った。このため八雲町八雲で9.0mm、今金で10.5mmの日最大1時間降水量を観測し、それぞれ2月における極値を更新したほか、南から暖気の流入が続き函館市川汲で気温10.9℃、木古内で気温11.9℃、せたな町瀬棚で気温11.1℃、今金で気温10.5℃を観測し、それぞれ2月における日最高気温の高い方からの極値を更新した。27日は高気圧に覆われ、晴れた。28日は高気圧の縁辺で、

概ね晴で夜雪が降った。

気 温：各地点の月平均気温は -5.1 ～-0.9℃で、平年差は-1.3～-0.2℃。

函館市川汲・江差で平年並のほかは、平年より低かった。

降 水 量：各地点の月降水量は 19.0～139.0 mmで、平年比は 52～127%。

江差で平年より多く、木古内・せたな町瀬棚・厚沢部町鶉・上ノ国町石崎で平年より少なく、今金で平年よりかなり少ないほかは、平年並だった。

日照時間：各地点の月間日照時間は 41.9～113.0 時間で、平年比は 79～103%。

木古内で平年より多く、長万部・せたな町瀬棚・江差で平年より少ないほかは、平年並だった。

注：数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値

	気温 (°C)		降水量		日照時間		降雪量	月最深積雪 (cm)
	月平均	平年差	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)	月合計 (cm)	
函 館	-2.7	-0.2	44.0	73	113.0	97	73	47
江 差	-1.1	-0.3	79.5	127	47.0	79	82	9

(平年比・差は1971年から2000年までのデータで算出した平年値を用いて求めています。)

◎ 気象官署、特別地域気象観測所の極値更新表

官署名	項目名	観測した極値	起年月日	従来の極値	起年月日	統計開始年
函 館	2月における日最高気温の高い方から	13.6℃	2010年2月25日	11.1℃	1992年2月29日	1873年
江 差	2月における日最高気温の高い方から	14.5℃	2010年2月25日	12.2℃	1954年2月28日	1941年

◎ 異常気象および気象災害発生状況

《2月25日～26日、渡島地方》

概 況：25日北海道は三陸沖に中心をもつ高気圧の影響で南から暖気が流入し、更に25日夜遅くから26日にかけてオホーツク海から延びる寒冷前線が通過し、まとまった雨が降った。

気象現象名：融雪、その他（雨）

気象災害名：浸水害

気象観測値：期間降水量・平年比（函館市美原） 5.5mm(120%)（25日～26日）

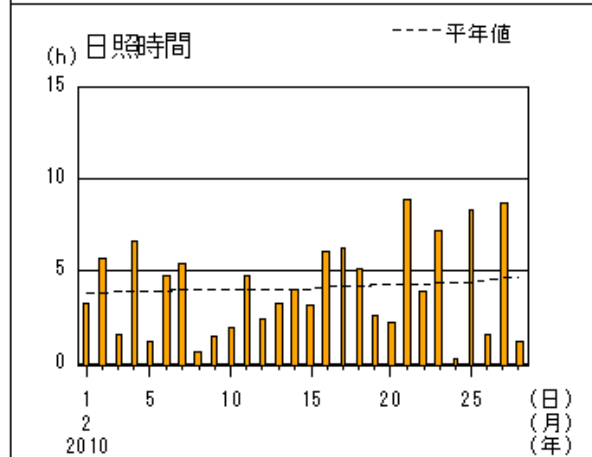
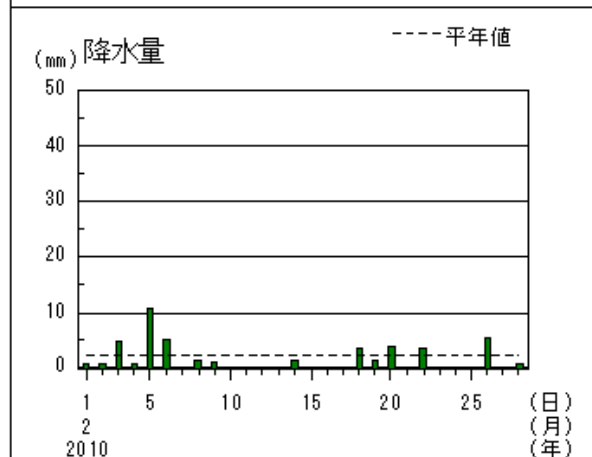
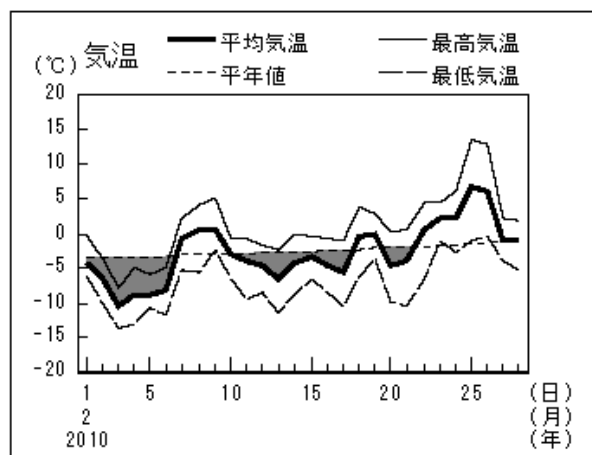
期間降水量・平年比（福島町千軒）	40.0mm (357%)	（25日～26日）
最大日降水量（函館市美原）	5.5mm	（26日）
最大日降水量（福島町千軒）	40.0mm	（26日）
最大1時間降水量（函館市美原）	2.0mm	（26日05時33分）
最大1時間降水量（福島町千軒）	12.0mm	（26日05時01分）
10分間降水量（函館市美原）	0.5mm	（26日07時05分）
10分間降水量（福島町千軒）	3.0mm	（26日04時17分）
最深積雪（函館市美原）	33cm	（25日）
最深積雪（福島町千軒）	82cm	（25日）
日平均気温・平年差（函館市美原）	6.8℃ (+8.3℃)	（25日）
日平均気温・平年差（松前）	11.4℃ (+11.1℃)	（25日）
期間平均気温・平年差（函館市美原）	6.5℃ (+7.9℃)	（25日～26日）
期間平均気温・平年差（松前）	8.8℃ (+8.4℃)	（25日～26日）

被害状況：05時頃、道道八雲厚沢部線で融雪と雨で山間の支流が増水し、道路が浸水した。
このため07時00分～17時00分まで10時間通行止となった。

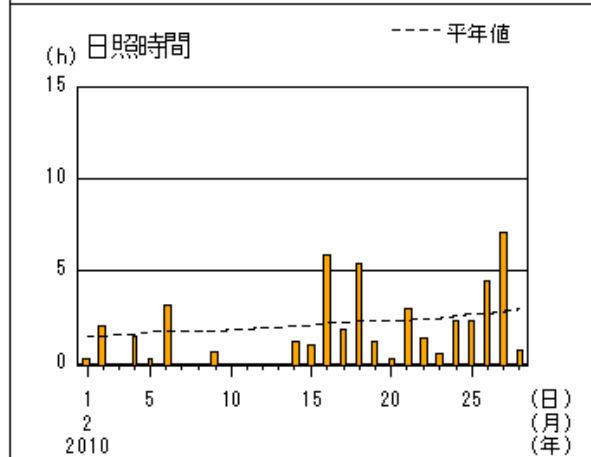
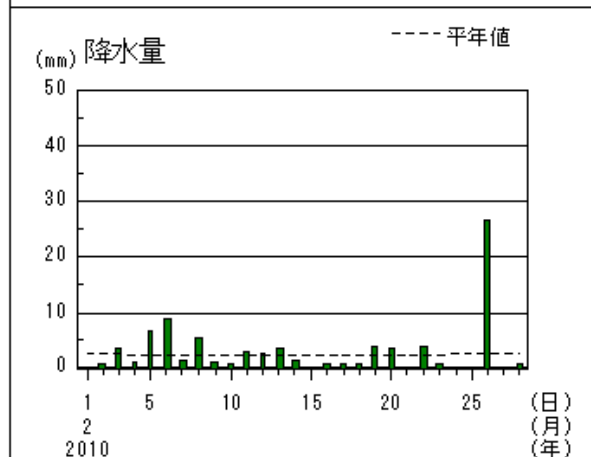
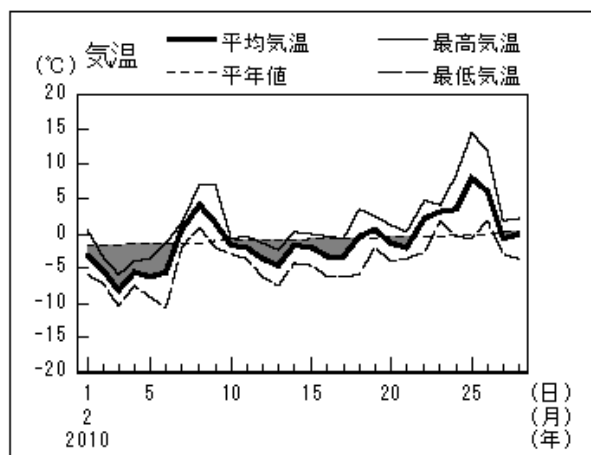
◎ 気象経過図（2月）

地上気象：2010年2月1日-2010年2月28日

函館

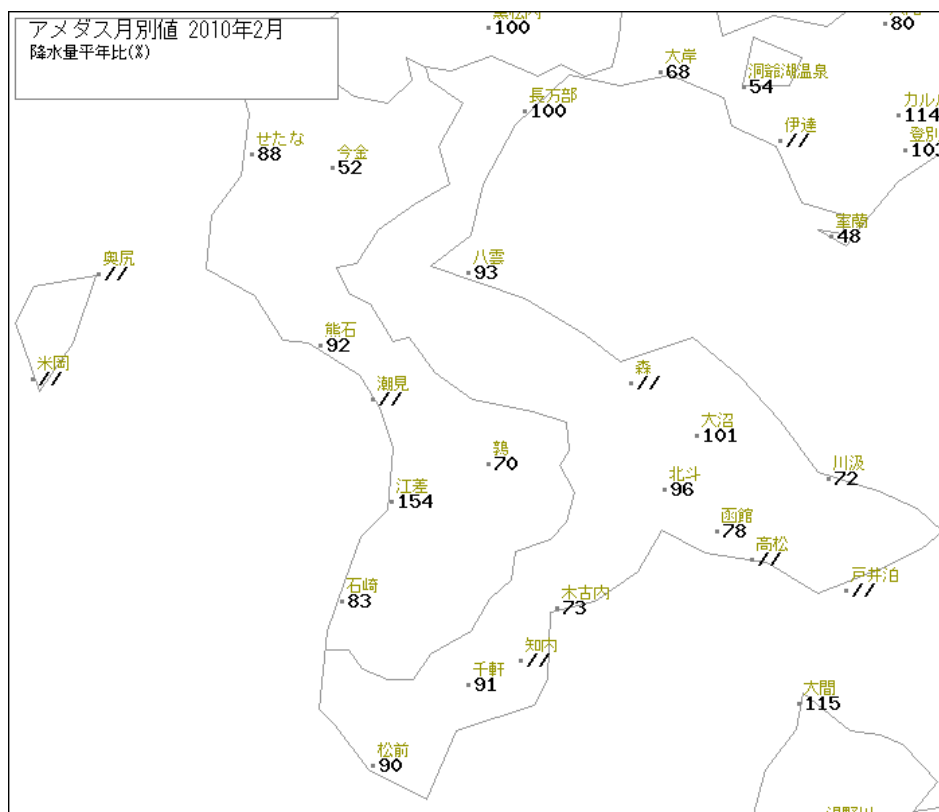
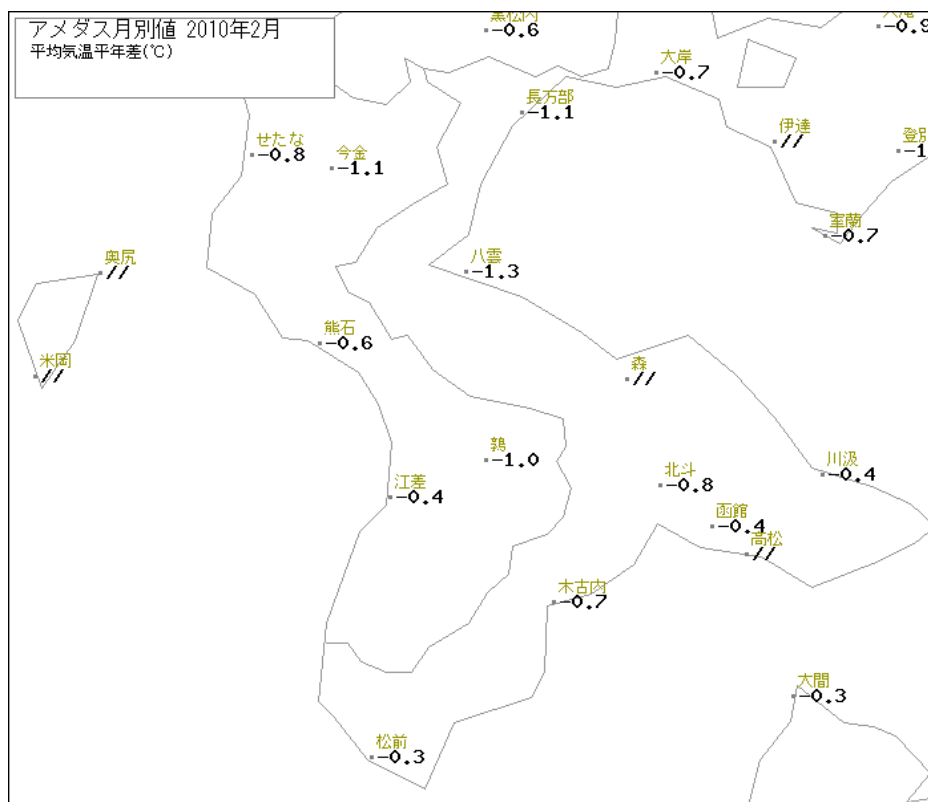


江差



◎ 気象分布図（2月）

注：以下の気象分布図は地域気象観測統計に基づき作成しているため、気象官署の函館および江差の値が異なる場合があります。



アメダス月別値 2010年2月
日照時間平年比(%)

